

## 城西人文研究 既刊総目次

### 創刊号 (1973 年)

序	武 市 春 男
『城西人文研究』の創刊に際して	蒔 田 栄 一
ニーチェとキリスト教倫理	木 阪 昌 知
マヤの石造建築における「持送りアーチ」について	貞 末 堯 司
意味と認識	
——パース研究 (4) ——	西 勝 忠 男
シーハラヴァットパカラナ訳註 (Ⅱ)	
——第1章 第3・4・5話——	森 祖 道
独白と対話	
——ジョイスとベローの距離——	茂 呂 公 一
ポーにおけるグロテスクとアラベスク	水 田 宗 子
内村鑑三おぼえ書き (その八)	岩 谷 元 輝
人間の社会的構造と疎外	松 浦 孝 作
『靈魂の系図』について	
——Carlyle を中心として——	松 田 福 松
カフカの世界	
——非ユダヤ的ユダヤ人——	山 口 勲

### 第2号——蒔田栄一教授追悼論文集—— (1974 年)

巻 頭 言	武 市 春 男
バスク語の単文における語順の文体的価値について	堀 田 郷 弘
内村鑑三おぼえ書 (その九)	岩 谷 元 輝
精神病理学的立場からみたニーチェ思想の枠構造 (1)	木 阪 昌 知
『サムラー氏の惑星』試論	森 哲 夫
「キリスト者貴族に与う」にみられるルターの思想考	太 田 広
宗教史にみる日本的均衡のメカニズム (Ⅳ)	
——マーケティングと宗教の関連において——	渡 辺 好 章
遠近法と身体性について	山 口 勲
同一性 (アイデンティティ) に関する諸問題——その一——	帆 足 喜与子

涼袋稿『風雅艶談』浮舟部——翻刻——	黄色	瑞華
「紙」以前の書写の用材について	井口	大介
故蒔田栄一教授 追悼	松田	福松
ああ蒔田栄一先生よ	伊部	政一

### 第3号——城西大学開学十周年記念論文集——（1975年）

アンデス古代文明の諸問題	貞松	堯司
発見の哲学——パース研究（6）——	西勝	忠男
首都圏の都市成長前線帯におけるサービス業地域の形成 ——埼玉県坂戸町「きどうち」と「駅東通り」の比較——	田村	正夫
鉄齋と華山	小野	浩
日本民主主義研究序論	森田	昌幸
遠近法と身体性——その哲学的意味——	山口	勲
Feminine Failure and the Modern Hero : Mad Women in Sylvia Plath's <i>The Bell Jar</i> and Joan Didion's <i>Play It As It Lays</i>	水田	宗子
『おらが春』の素材	黄色	瑞華
日本におけるアンドレ・マルロー受容 ——1941年（昭16）まで——	堀田	郷弘
ジェイムズ・ジョイス研究——造形への意識——	茂呂	公一
作品とその批評 —— <i>Robert Elsmere</i> と “Robert Elsmere” ——	萩原	博子
司馬遷論	黒羽	英男
三代日本主義の系譜について	松田	福松

### 第4号（1977年）

論理の自律性について——パース研究（7）——	西勝	忠男
カントの「定言命法」	山口	勲
中央アメリカの考古学史 ——先コロンブス期文化の研究を中心とした——	貞末	堯司
クレアラ・アン・ペイター覚え書	萩原	博子
『教育者としてのショーペンハウアー』から ——ニーチェと自然——	河内	信弘
アンドレ・マルローと日本行動主義文学運動	堀田	郷弘

アンドレ・ジッドの方法（Ⅱ）——生命の美学——……………	陶	山	曠
冷たき牧歌			
——キーツの『ギリシャの壺の賦』によせて——……………	永	井	豊
『おらが春』の素材（続）……………	黄	色	瑞
歌人「安江不空」……………	小	野	浩

## 第5号（1978年）

南アメリカの考古学史……………	貞	末	堯	司
Manorathapūrani 源泉資料年代論……………	森		祖	道
大学英語教育の問題点（上）……………	鮫	島	久	男
クレアラ・アン・ペイター覚え書（Ⅱ）……………	萩	原	博	子
『シンベリン』皮肉な遊戯……………	戸	所	宏	之
カフカ研究の視座を求めて……………	山	口		勲
東京日仏会館開館式におけるマルロー氏の演説(1960年2月22日)				
と東京羽田空港におけるインタビュー（2月29日）……………	堀	田	郷	弘
アンドレ・ジッドの方法（Ⅲ）……………	陶	山		曠
ニーチェと自然（一）……………	河	内	信	弘
『おらが春』第一話の設定をめぐって……………	黄	色	瑞	華

## 第6号（1979年）

ヴィトゲンシュタインの思想を理解するために……………	山	口		勲
パーソナリティテストとしてのSCTに関する一考察				
——特に応用とその解釈をめぐって——……………	駒	崎		勉
ジェイムズ・ジョイスの手法について（Ⅰ）				
——我国におけるジョイス評価の推移——……………	茂	呂	公	一
A Textual History of Walter Pater's				
<i>Renaissance</i> ……………	Hiroko	Hagiwara		
マクベスの意識構造——「運命」「眠り」「時」——……………	小	野		昌
ニーチェと自然（二）——『悲劇の誕生』——……………	河	内	信	弘
全集本『おらが春』について……………	黄	色	瑞	華

## 第7号（1980年）

ヤスパースとフッサール				
——精神病理学の哲学的基礎——……………	山	口		勲

PANTUN—puisi dan puisi rupa—	黄色 瑞 華
国際水利法に関する一考察	土 屋 生
ジェイムズ・ジョイスの手法について (II)	
——我国におけるジョイス評価の推移——	茂 呂 公 一
The Development of the Audiolingual Approach	
——Trends in Language Methodology in the United States——	
	Fumiko Tamura
『空騒ぎ』の冥と光——偽りの力学——	戸 所 宏 之
「エンディミオン」における映像のあり方	永 井 豊 実
『ヴェニス商人』における Venture について	小 野 昌
カミュとニーチェ——『異邦人』と〈神の死〉——	村 岡 正 明
アンドレ・ジッドの方法 (IV)——生命の美学——	陶 山 瞳
「騎士と死神と悪魔」	
——『悲劇の誕生』におけるデューラーの銅版画をめぐって——	
	河 内 信 弘

### 第 8 号 (1981 年)

ヴィトゲンシュタインのケムブリッジ	山 口 勲
アメリカ文化論 (I)	小松 光・金勝 久・茂呂公一・黒沢順三
シャルル・モーロンの「精神批評」(1)	越坂部 則 道
「高き山々の頂きから」	
——『善悪の彼岸』に添えられた詩に関する一つの試み——	河 内 信 弘
思想家としてのニーチェ	小 野 浩
『四山藁』の俳論	黄 色 瑞 華

### 第 9 号 (1982 年)

アメリカ文化論 (II)	金 勝 久
ジョイスのパドバ・エッセイについて	茂 呂 公 一
アンドレ・マルローの最初の美術論	
《La Peinture de Galanis》(1922) について	
——マルローの初期の美術論の研究(前)——	堀 田 郷 弘
シャルル・モーロンの「精神批評」(2)	越坂部 則 道
教育場面における夢の活用 (I)	
——その背景としてのフロイトとユング——	細 部 国 明

身・語・意の三業 (tīni kammāni) と carita, saṅkhāra,  
samācāra .....池 田 練太郎

詩的コスモゴニーへの論理  
——ランボー詩の内的世界——

.....川那部 保 明

ハイデガー先生の想ひ出.....小 野 浩  
〔研究ノート〕

俳諧連歌における謡曲の文句取り (一) .....黄 色 瑞 華

### 第 10 号 (1983 年)

ヴィトゲンシュタイン：太洋の測量技師

——逆限定のパトス—— .....山 口 勲

アメリカ文化論 (Ⅲ) .....金 勝 久

ジョイスのディケンズ・エッセイについて.....茂 呂 公 一

教育場面における夢の活用 (Ⅱ)

——夢と宗教—— .....細 部 国 明

Zur Entwicklung der deutschen Sprache

in der DDR ..... Kuniomi Uchimura

『失われた時を求めて』における作中人物の出現と

話者のまなざし.....北川原 哲 夫

カミュと〈他者〉.....村 岡 正 明

〔書 評〕

(Ⅰ) LE DASAVATTHUPPAKARANA

Édité et traduit par Jacqueline VER EECKE

(Ⅱ) LE SĪHALAVATTHUPPAKARANA

Texte pāli et traduction par Jacqueline VER EECKE

.....森 祖 道

〔研究ノート〕

涪浜庵執筆一茶.....黄 色 瑞 華

### 第 11 号 (1984 年)

〈人間＝記号〉論について .....西 勝 忠 男

教育場面における夢の活用 (Ⅲ)

——ユングの宗教夢解釈に対するフロムの批判——.....細 部 国 明

Erühneuhochdeutsch und Buchdruckerkunst-III.

- Die Herausbildung der(verbale)nSatzklammer …… 藤 井 明 彦  
 Didaktische Probleme des Geschichtsunterrichts in den  
 sozialistischen Ländern am Beispiel der UdSSR …… Stefan Wundt  
 知と自我  
 ——初期シェリング哲学の原理について—— …… 小 林 保 則  
 歌人 安江不空 …… 小 野 浩  
 『我春集』の序文をめぐって …… 黄 色 瑞 華

### 第12号(1985年)

- ロンゴバルディ侵住建国をめぐる諸問題  
 ——イタリア民族形成史の一こま—— …… 森 田 鉄 郎  
 教育場面における夢の活用(IV)  
 ——ユングの宗教夢解釈に対するボスの批判—— …… 細 部 国 明  
 ベン・ジョンソンの男性的雄弁の美学  
 ——*Timber*の詩論を通じてジョンソンの詩を読む—— …… 平 松 哲 司  
 Die Kommunistische Erziehung und ihre  
 Wertvorstellungen …… Stefan Wundt  
 シャルル・モーロンの「精神批評」(3) …… 越坂部 則 道  
 『我春集』から『株番』へ …… 黄 色 瑞 華  
 [研究ノート]  
 農村集落における精神的ムラ境の諸相  
 ——茨城県桜村における虫送りと道切りを事例として—— …… 小 口 千 明  
 ヴァイマル憲法制定国民議会における裁判官の審査権  
 ——「ヴァイマル憲法下の裁判官の審査権」研究序説—— …… 畑 尻 剛  
 グスターフ・フライタークの〈Soll und Haben〉 …… 鈴 木 敏 夫

### 第13号(1986年)

- 巻 頭 言 …… 石 南 國  
 “鏡”の論理から“魂”の論理へ  
 ——人間記号論序説—— …… 西 勝 忠 男  
 北欧中世(スウェーデン)における自力救済慣行  
 ——実力社会の一考察—— …… 伏 島 正 義  
 潮湯の偏在性に関する地理学的予察  
 ——日本における海水浴普及との関連から—— …… 小 口 千 明

- ジョイスの“Exiles”における受難の思想について …… 茂 呂 公 一  
 Eloisa と Belinda の相違 …… 石 川 郁 二  
 状態動詞・完了形・進行形・状態受動態に  
 見られる共通特性 …… 鎌 田 精三郎  
 R. Huch の〈スイスの春〉覚え書  
 ——研究ノート—— …… 鈴 木 敏 夫  
 J. ヴァイスヴァイラーの Seele の語源説をめぐって …… 藤 井 明 彦  
 ヴァージニア・ウルフ『燈台へ』における視点と  
 人物描写について …… 飯 塚 英 一  
 エアリエルの材源再考 …… 門 野 泉  
 パトナム, シドニーの *sprezzatura* 精神  
 ——宮廷世界の美学と「ルネサンス・ヒューマニズム」の対峙——  
 …… 平 松 哲 司  
 The Dimensions of the U.S.—Japanese  
 Cultural Conflicts Underlying the Trade Issue …… 古 川 友 章  
 神話概念の変遷Ⅱ  
 ——翻訳語としての『神話』をめぐって(上)—— …… 天 沼 春 樹  
 自己言及のかたち  
 ——『イリュミナシオン』『生活Ⅲ』と「生活Ⅰ」を読む—— …… 新 宅 巖  
 フロベールにおける登場人物と場面 …… 大久保 政 憲  
 『息 子』 アルトウール・シュニッツラー  
 ——翻 訳—— …… 春 日 正 男  
 『バシュラールと過したひと夏』とその研究Ⅰ …… 越坂部 則 道  
 アンドレ・ジッドの方法(VI) …… 陶 山 曠  
 アンドレ・マルロー「ルオーの新作についての覚書——  
 絵画における悲劇的表現をめぐって」の翻訳と解題 …… 堀 田 郷 弘  
 「シルス・マリーア」をめぐって …… 河 内 信 弘  
 日中戦争開戦当初における対植民地・「満州」米政策 …… 大豆生田 稔  
 歌人 安江不空・序(3)  
 ——大和歌の問題—— …… 小 野 浩  
 『志多良』の序文をめぐって …… 黄 色 瑞 華  
 高橋克巳論——虚無僧のパトス—— …… 山 口 勲

## 第 14 号 (1987 年)

Mahāsīvatthera as Seen in the Pāli Aṭṭhakathās …… Sodō Mori

- キーツの『秋に寄せて』(二)  
 ——第2連の情景—— ..... 永井豊実
- 坪内逍遙とシェイクスピア  
 ——帝劇『ハムレット』をめぐって—— ..... 小野昌
- TENSE and TIME in English ..... Seizaburo Kamata
- コシンスキーの『自己芸術』: *Steps* をめぐって ..... 繁田眞弓
- Kajii Motojiros “Fliegen im Winter” ..... Stefan Wundt
- E. T. A. ホフマン『さびれた家』  
 ——作話技術を中心に—— ..... 齊藤洋
- バルザックの小説の提示部について ..... 佐野栄一
- [研究ノート]
- ニーチェにおける詩人  
 ——ニーチェの詩の理解のために—— ..... 河内信弘
- [研究ノート]
- 井泉水編『一茶俳句集』入集の句(一) ..... 黄色瑞華
- イエイツの「一エーカーの草地」について  
 ——〈悟り〉か〈狂気〉か—— ..... 小堀隆司
- アポリネールの恋の詩と真実 ..... 堀田郷弘

### 第15巻 第1号 (1987年)

- 推論の妥当性から〈魂〉の論理性へ ..... 西勝忠男
- “Elegy to the Memory of an Unfortunate  
 Lady” と “Eloisa to Abelard” ..... 石川郁二
- Faerie Queene*, Book I における「光」と「闇」 ..... 古川啓二
- [研究ノート]
- 井泉水編『一茶俳句集』入集の句(二) ..... 黄色瑞華
- 「松のひゞき波をしらぶ」考 ..... 安保博史
- イエイツ「マイケル・ロバーツの二重の幻想」について  
 ——幻滅の狡智—— ..... 小堀隆司

### 第15巻 第2号 (1987年)

- A Study of the *Sihalavaththupakarana* ..... Sodō Mori
- The Acquisition of English and the  
 Learner's Attitude  
 ——Motivation vs. Ego Boundary—— ..... Fumiko Tamura



## James Joyce の “Exiles” と芥川龍之介の

『藪の中』との類縁性(1)

——人物像を中心にして—— …………… 茂 呂 公 一

結婚で終わらない喜劇, *Love's Labour's Lost* の構造 …… 小 野 昌

テオドア・フォンターネ: グスタフ・フライタークの

〈借り方と貸し方〉(試訳) …………… 鈴 木 敏 夫

ゲーテの『ヴィルヘルム・マイスターの遍歴時代』

におけるマカーリエ神話 …………… 荻 野 静 男

神話概念の変遷 I

——Mythos の語史に関して (上)—— …………… 天 沼 春 樹

ニーチェにおける夕

——詩人としてのニーチェ—— …………… 河 内 信 弘

〔研究ノート〕

井泉水編『一茶俳句集』の句(三) …………… 黄 色 瑞 華

## 第 16 卷 第 1 号 (1988 年)

ジョイスの “Exiles” と芥川の『藪の中』に

おける卍巴模様の構造と, 真相の曖昧さの  
意味について

——ジョイス受容史への加筆の試み—— …………… 茂 呂 公 一

カミュの「無差異」について …………… 村 岡 正 明

Dostoevskij の小説における思想上の傾向 …………… シュテファン・ヴント

イエイツ「ビザンチウムへの船出」について

——聖なる彼方の詭計—— …………… 小 堀 隆 司

バシュラルの死をめぐる

——『バシュラルと過したひと夏』とその研究 II —— …………… 越坂部 則 道

ニーチェにおける第七の孤独 …………… 河 内 信 弘

〔研究ノート〕

井泉水編『一茶俳句集』入集の句(四) …………… 黄 色 瑞 華

## 第 16 卷 第 2 号 (1988 年)

ワーグナーの楽劇『トリスタンとイゾルデ』

——《死の薬》をめぐる—— …………… 春 日 正 男

『結婚の生理学』におけるバルザックの政治

と文学の問題 …………… 佐 野 栄 一

- イエイツの「塔」について  
 ——反復としての回想……小堀隆司  
 [研究ノート]  
 井泉水編『一茶俳句集』入集の句(五)……黄色瑞華

### 第17巻 第1号 (1989年)

- The Value of the Pāli Commentaries as  
 Research Material …… Sodō Mori  
 Eloisa は幸福を手に入れるか  
 ——*An Essay on Man* を基にして—— …… 石川郁二  
 西ベルリンと国際関係  
 ——ドイツ人のベルリン報告—— …… シュテファン・ヴント  
 Zur Erzählstruktur in Kafkas  
 《Von den Gleichnissen》 …… Tetsuo Kotani  
 ディオニュソス酔歌 (翻訳) …… 河内信弘  
 [研究ノート]  
 井泉水編『一茶俳句集』入集の句(六) …… 黄色瑞華  
 会員消息欄

### 第17巻 第2号 (1990年)

- 乳児の発達 …… 細部国明  
 モーツァルトの『魔笛』  
 ——オペラにおける教養小説—— …… 春日正男  
 A Review of Tesl Method …… John Parsons  
 “詩的に” 考える  
 ——ハイデッガーの作品『思い出』における  
 考えることの本質への問い—— …… 高島 明  
 イエイツ『鷹の井戸』  
 ——転生のための不可能性—— …… 小堀隆司  
 一人称のバシュラール  
 ——『バシュラールと過したひと夏』とその研究Ⅲ …… 越坂部 則道  
 [研究ノート]  
 井泉水編『一茶俳句集』入集の句(七) …… 黄色瑞華

## 第18巻 第1号 (1990年)

## 水滴の歌

——T. S. エリオットの声—— …………… 佐藤 亨

## 呪文としての文学

——『アメリカ人の成り立ち』の場合—— …………… 三芳 康義

## イエイツ『煉獄』について

——王の呪詛と断念—— …………… 小堀 隆司

## アンドレ・ジッドの方法Ⅶ

『法王庁の抜け穴』をめぐって (その1) …………… 陶山 曠

## 〔研究ノート〕

井泉水編『一茶俳句集』入集の句(完) …………… 黄色 瑞華

## 会員消息欄

## 第18巻 第2号 (1991年)

*The Temple of Fame* における

過去, 現在, 未来 …………… 石川 郁二

## 中国の古典比喩理論

——日本と西洋との比較を通して—— …………… 楊麗 雅

## 〔研究ノート〕

幼児期以後の発達 …………… 細部 国明

## Changing Views of the West's Impact

on China …………… J. H. Parsons

## ドイツ民主共和国における拒否的教養小説の

影響力 …………… シュテファン・ヴント

## ワーグナーの『ローエングリン』

——引き裂かれた魂—— …………… 春日 正男

## 〔翻訳〕

## プリンツ・フォーゲルフライの歌

——“Die fröhliche Wissenschaft” にそえられた

ニーチェの詩の翻訳の試み …………… 河内 信弘

## アンドレ・ジッドの方法 Ⅷ

『法王庁の抜け穴』(その2)

——『鎖を離れたプロメテ』と『パリュード』をめぐって——

…………… 陶山 曠

## 第19巻 第1号 (1991年)

- 『恋の骨折り損』の春と冬のかげ合いについて……………小野 昌  
 制度化された学校教育の功罪への問い  
 ——I. イリッチ, K. アウリン, E. E. ガイスラーの  
 学校論を廻って——……………高島 明  
 漱石文学の比喩表現におけるイメージ研究  
 ——夢・絵画・幽麗——……………楊麗雅  
 イェイツ「自我と魂の対話」……………小堀隆司  
 アンドレ・ジッドの方法 IX  
 『インモラリスト』——ソチの観点から……………陶山 嘯  
 [翻訳]  
 菊池 寛：蘭学事始……………河内信弘, シュテファン・ヴント (共訳)  
 [研究ノート]  
 嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(1)……………黄色瑞華

## 第19巻 第2号 (1992年)

- 道化のコンセプト……………小野 昌  
 日本語助詞「は」と「が」  
 ——情報伝達の観点から——……………鎌田 精三郎  
 夏目漱石の比喩論……………楊麗雅  
 ガートルード・スタイン：「戯曲」の始まり……………三芳 康義  
 [翻訳]  
 中島 敦：『弟子』……………河内信弘, シュテファン・ヴント (共訳)  
 [研究ノート]  
 嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(2)……………黄色瑞華

## 第20巻 第1号 (1992年)

- リルケとロシア絵画  
 ——三つの計画——……………安家 達也  
 [研究ノート]  
 教育評価について……………細部 国明  
 嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(3)……………黄色瑞華

〔翻 訳〕

中島 敦：『弟子（その2）』および『山月記』

…………… 河内信弘，シュテファン・ヴント（共訳）

慰められるクフーリンと黒い塔について

——イエイツ最後の動揺—— …………… 小 堀 隆 司

## 第20巻 第2号（1993年）

G. スタインの「メランクサ」

——“Bottom Nature”を求めて—— …………… 三 芳 康 義

〔研究ノート〕

エーミール・エルマティンガーの

「ゴットフリート・ケラーの生涯」（再読）…………… 鈴 木 敏 夫

知能について——知能構造と教育—— …………… 細 部 国 明

嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(4)…………… 黄 色 瑞 華

〔書 評〕

「会社主義」と法——紹介＝東京大学社会科学研究所編

『現代日本社会』（全7巻）—— …………… 述 田 齊

イエイツ「動揺」について（I）

——〈存在〉から遙か離れて—— …………… 小 堀 隆 司